

同志社大学アメリカ研究所 第9部門研究主催
一般公開研究会

アイン・ランドの思想と米国の政治文化

講師：ヤロン・ブルック博士 (Dr. Yaron Brook)

米国アイン・ランド研究所 エグゼクティブ・チェアマン

14:00 - 15:00 講演 「アイン・ランドの思想と米国の政治文化」(英語)

15:00 - 16:00 質疑・討論 「トランプ政権をどうみるか」(逐次通訳あり)

アイン・ランドの作品と思想は、ニクソン政権の1970年代以降、徴兵制の廃止や規制緩和の原動力となり近年の茶会党運動や大統領選にも大きな影響を与えてきた。アイン・ランドとは誰なのか。その思想は米国の政治文化にどのような影響を与えてきたのか。米国アイン・ランド研究所のヤロン・ブルック氏に概説いただく。質疑・討論では、米国の自由至上主義や保守思想の進化とトランプ政権誕生との関係についても考察する。

ヤロン・ブルック博士

Dr. Yaron Brook

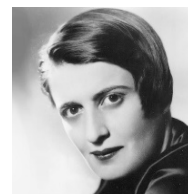
イスラエル生まれ。1987年に渡米しテキサス大学オースティン校でMBAと金融分野の博士号を取得。2000年に米国アイン・ランド研究所所長に就任。近著に“*Equal is Unfair: America's Misguided Fight Against Income Inequality*”がある。



アイン・ランド

Ayn Rand (1905 - 1982)

アメリカの「保守の女神」と呼ばれる思想小説家。ロシアで生まれ共産主義革命を経験し、1926年に渡米。『水源』がベストセラー。1957年の『肩をすくめるアトラス』は自由至上主義の古典としてティーパーティー運動のインスピレーションとなる。



日時：2017年5月4日(木)

14:00~16:00 (13:30開場)

場所：同志社大学

今出川キャンパス良心館 452 教室

使用言語：英語 (一部逐次通訳あり)

申込不要・入場無料

お問合せ先：飯田 健(同志社大学)

tiida@mail.doshisha.ac.jp